

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

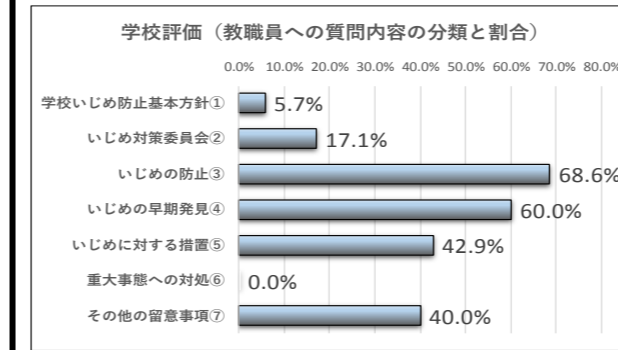
※事務局記入欄

【様式 2】

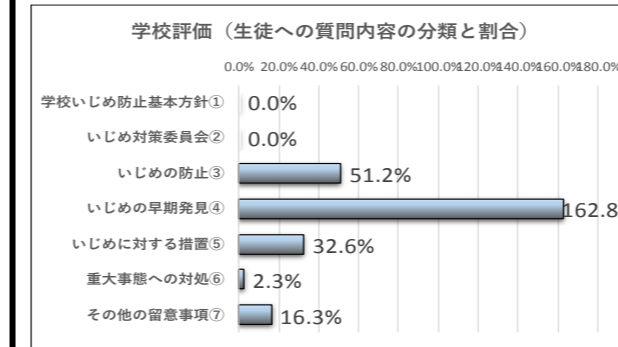
No. C-13

部門名: 地域とともにある学校実践部門	エントリー名: 沖縄県立美来工科高等学校 安里剛 平成 30 年度第 2 回副校長・教頭等研修
活動名: 主タイトル (12 文字以内) いじめに関する学校評価 副タイトル (16 文字以内) 国のいじめ防止基本方針をうけて	
解決すべき課題: NITS の研修を受講することにより、様々な学校の課題について考えるきっかけとなった。その中でも、いじめに関する問題が、深刻であるように感じた。 平成 29 年 3 月 14 日付け文部科学大臣決定により、「いじめの防止等のための基本的な方針」(以下、「国のいじめ防止基本方針」と記す。)を改定した。これにより、学校評価においても学校いじめ防止基本方針に基づく取組の実施状況を学教評価の評価項目に位置付けるという学校の対応強化がこれまで以上に必要となった。 しかしながら、安里・他(2018)によると、本県の高等学校におけるいじめに関する評価項目は、国の示す評価項目を網羅していないことが判明した(グラフ 1・2)。 そこで、本校では、国のいじめ防止基本方針に基づいた学校評価における自己評価及び外部アンケート等について、いじめに関する評価項目を改善・設定し、いじめに関する取組の改善を図ることを目標とした。	
目標・方針: (1) 学校評価におけるいじめに関する評価項目を整理・改善(表 1)することにより、PDCA サイクルによる学校における持続発展可能な取組の更なる改善を目指す。 (2) 学校評価の一環として、いじめに関する生徒及び保護者対象の外部アンケートの整理・改善を行うことにより、外部の意見を参考にした取組の改善を図る。(図 1)	
活動内容: (1) 評価項目の分析 (2) いじめに関する評価項目の作成(表 1) (3) 学校評価の実施計画の作成(図 1) (4) 学校評価の実施 (5) 学校評価の分析 (6) 本校の学校いじめ防止基本方針の見直し	
活動の成果: (1) 学校評価に学校のいじめに関する取組に関する評価項目を整備することにより、PDCA サイクルによる学校の取組の持続的発展可能な改善ができるようになった。 (2) 学校評価の一環として、いじめに関する生徒及び保護者対象の外部アンケートを行うことにより、外部の意見を参考に取組の改善ができるようになった。 (3) 上記により、学校いじめ防止基本方針の見直し・改善につながった。	
アピールポイント(アイディアや工夫): (1) Forms を活用したアンケート調査をすることにより、調査集計の効率化を図ることができた。 (2) 国のいじめ防止基本方針をうけて、いじめに関する評価項目を設定すると、項目数が非常に多くなる。よって、学校評価(詳細版)については、「評価項目の設問を読みながら学校が実施・留意すべきいじめに関する取組内容を把握できる」と、職員研修のつもりで設問を読むことを意識させた。 (3) いじめに関する学校評価の評価項目については、その質問内容を作る際に多くの学校で課題となっておりと思われる。今回の本校の評価項目の改善は、その改善例の一つになれば幸いである。	

グラフ 1

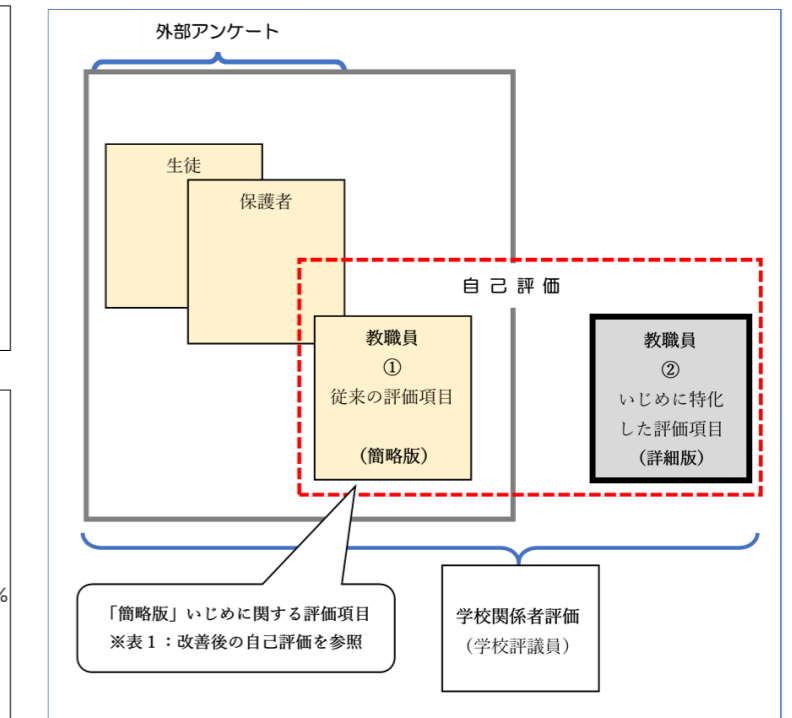


グラフ 2



※上記のグラフ 1・2 は参考資料(安里・他(2018)より)

図 1 (学校評価の概要)



【いじめに関する評価項目】

「簡略版」として、吉田浩之(2015.3)「いじめ防止基本方針に基づく学校チェックリストの作成」を基に、いじめに関する評価項目を、①基本方針、②対策委員会、③未然防止、④早期発見、⑤措置(対応)、⑥重大事態、⑦留意事項の 7 項目を含むように作成した。

表 1	改善前(マークシート方式)	改善後(Forms 方式: ネットを介したアンケート集計)
簡易版	<p>【自己評価(教職員用)】</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ対策について指導が充分に行われている。 <p>【外部アンケート(保護者用・生徒用)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者 <ul style="list-style-type: none"> 学校は、生徒指導やいじめのない学校づくりへの取組みがしっかりなされている。 学校には、命の大切さや社会のルール、生き方について話してくれる先生がいる。 ○生徒 <ul style="list-style-type: none"> 学校では、いじめや暴力がない。 学校には、いじめや暴力について取り上げ指導してくれる先生がいる。 	<p>【自己評価(教職員用①)】</p> <ol style="list-style-type: none"> いじめに関する職員研修を実施し、学校いじめ防止基本方針を HP に掲載するとともに入学式・各年度の開始時に児童生徒・保護者等に取組や相談窓口等を説明している。 いじめ対策委員会が中心となり、学校いじめ防止基本方針に基づく迅速かつ適切な情報共有や組織的な取組(アンケートや個人・保護者面談等による未然防止・早期発見・早期対応[重大事態を含む])を行っている。 いじめ防止等に関する取組の実施状況を学校評価の達成目標に位置づけ、達成状況を評価した結果を踏まえ改善を行い、いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりに努めている。 <p>【外部アンケート(保護者用・生徒用)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記の教職員用の評価項目とほぼ同様な内容とした。
詳細版	なし	<p>【自己評価(教職員用②)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳細版として、56 の評価項目を作成・実施した。

[参考文献]・吉田浩之(2015.3)「いじめ防止基本方針に基づく学校チェックリストの作成」琉球大学教育学部教育実践総合センター紀要
 ・安里・他(2018)「学校いじめ防止基本方針に基づく取組の学校評価における評価項目の作成」沖縄県高等学校教頭・副校長会